



2026年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月13日

上場会社名 BRUNO株式会社
コード番号 3140 URL <https://bruno-inc.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 徹
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO経営企画部長 (氏名) 佐藤 信治
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

上場取引所 東
TEL 03-6631-0000

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	3,455	3.0	34	—	48	—	170	—
2025年6月期第1四半期	3,353	28.3	37	—	19	—	37	—

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 181百万円 (—%) 2025年6月期第1四半期 48百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	11.91	—
2025年6月期第1四半期	2.58	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	10,219	5,332	52.2
2025年6月期	10,507	5,208	49.5

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 5,332百万円 2025年6月期 5,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2026年6月期	—				
2026年6月期(予想)		0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 6月期の連結業績予想(2025年 7月 1日～2026年 6月30日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	14,850	2.3	1,295	193.8	1,108	236.7	857	345.3
								59.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年6月期1Q	14,717,350 株	2025年6月期	14,717,350 株
2026年6月期1Q	374,735 株	2025年6月期	374,735 株
2026年6月期1Q	14,342,615 株	2025年6月期1Q	14,342,615 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会資料は、2025年11月17日までに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、住関連ライフスタイル市場を主たる事業ドメインとして定義し、キッチン家電や理美容品、トラベル関連領域において高い企画力とデザイン力を活かした商品開発に継続的に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間（2025年7月1日～2025年9月30日）における当社グループの売上高は3,455百万円（前年同期は3,353百万円 前年同期比3.0%増）となりました。

ライフスタイル商品ブランド『BRUNO』におきましては、ホットプレートやキッチン家電を中心とした主力商品の販売が堅調に推移し、前年同期を上回りました。特にホットプレートやエアフライヤーなどのキッチン家電が好調、国内売上を牽引いたしました。カタログギフトにおいても、高価格帯カタログの売上拡大や法人向け販路の売上拡大が進み、安定した成長を維持しました。海外販売につきましては越境EC等の売上が堅調に推移しました。これらの結果、『BRUNO』ブランドの売上高は前年同期比102%となりました。

トラベルブランド『MILESTO』におきましては、トラベルバッグやキャリーケースなど各種トラベル関連商品の販売が堅調に推移しました。グッドデザイン賞受賞の「Hütte」「LIKID」の新商品を投入、デザイン性と機能性を兼ね備えた製品群がブランド価値の向上に貢献しました。一方で、夏季における一時的な外国人来店客数の減少などにより、売上高は前年同期比98%となりました。

利益面におきましては、仕入・在庫のコントロール、原価率の改善施策を着実に実行するとともに、物流関連費用をはじめ販売費及び一般管理費も前年同期より抑制し、収益性の改善が着実に進んだ結果、営業利益は34百万円（前年同期は37百万円の損失）、経常利益48百万円（前年同期は19百万円の損失）と、増収増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は受取和解金（特別利益）の計上などにより170百万円（前年同期は37百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

①住関連ライフスタイル商品製造卸売事業

売上高1,868百万円（前年同期は1,695百万円）、営業利益183百万円（前年同期は29百万円）となりました。国内卸販売においては、ホットプレートやキッチン家電が好調に推移、海外販売においても売上が好調に推移しました。これらの結果、前述の通り、仕入・在庫のコントロール、原価低減施策、物流費用の削減等を推し進めた結果、営業利益は大幅に改善いたしました。

②住関連ライフスタイル商品小売事業

売上高は1,577百万円（前年同期は1,649百万円）、営業利益248百万円（前年同期は263百万円）となりました。

EC販売においてはカタログギフトや季節商品の販売が好調に推移、また、直営店舗においてはインバウンドおよび旅行需要を取り込み、トラベル関連商品の販売が堅調に推移しました。

③デザイン事業

売上高は9百万円（前年同期は9百万円）、営業利益9百万円（前年同期は9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、10,219百万円（前連結会計年度末は10,507百万円）となり、288百万円減少しました。

流動資産は、7,662百万円（前連結会計年度末は8,625百万円）となり、963百万円減少しました。これは現金及び預金の増加（281百万円）及び受取手形及び売掛金の増加（111百万円）があったものの、短期貸付金の減少（1,470百万円）、商品及び製品の減少（744百万円）及び原材料及び貯蔵品の減少（13百万円）等があったことによるものであります。

固定資産は、2,556百万円（前連結会計年度末は1,881百万円）となり、674百万円増加しました。これは有形固定資産の減少（13百万円）及び無形固定資産の減少（30百万円）があったものの、長期貸付金の増加（720百万円）等があったことによるものであります。

流動負債は、2,545百万円（前連結会計年度末は2,880百万円）となり、334百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金の増加（104百万円）及び未払法人税等の増加（78百万円）があったものの、短期借入金の減少（627百万円）及び引当金の減少（17百万円）等があったことによるものであります。

固定負債は、2,341百万円（前連結会計年度末は2,418百万円）となり、77百万円減少しました。これは長期借入金の減少（53百万円）等によるものであります。

純資産は、5,332百万円（前連結会計年度末5,208百万円）となり、124百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加（113百万円）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年8月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,898	2,180
受取手形及び売掛金	1,391	1,502
商品及び製品	2,739	1,995
原材料及び貯蔵品	271	258
短期貸付金	1,970	500
1年内回収予定の長期貸付金	—	700
その他	380	549
貸倒引当金	△25	△23
流動資産合計	8,625	7,662
固定資産		
有形固定資産		
その他（純額）	192	178
有形固定資産合計	192	178
無形固定資産		
のれん	1,304	1,274
その他	50	49
無形固定資産合計	1,355	1,324
投資その他の資産		
繰延税金資産	205	191
長期貸付金	—	720
その他	144	158
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	334	1,053
固定資産合計	1,881	2,556
資産合計	10,507	10,219
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	503	608
短期借入金	1,341	714
1年内返済予定の長期借入金	210	208
未払法人税等	37	116
引当金	54	37
契約負債	211	225
その他	520	635
流動負債合計	2,880	2,545
固定負債		
長期借入金	466	413
長期末払金	1,925	1,900
その他	27	27
固定負債合計	2,418	2,341
負債合計	5,299	4,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,509	1,509
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	1,974	2,087
自己株式	△82	△82
株主資本合計	5,220	5,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△12	△2
その他の包括利益累計額合計	△11	0
純資産合計	5,208	5,332
負債純資産合計	10,507	10,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,353	3,455
売上原価	1,973	2,038
売上総利益	1,379	1,416
販売費及び一般管理費	1,417	1,382
営業利益又は営業損失(△)	△37	34
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	24
為替差益	22	7
その他	0	0
営業外収益合計	29	33
営業外費用		
支払利息	5	5
支払手数料	2	9
売上割引	2	—
その他	0	3
営業外費用合計	11	18
経常利益又は経常損失(△)	△19	48
特別利益		
受取和解金	—	201
特別利益合計	—	201
特別損失		
固定資産除却損	0	0
訴訟関連費用	—	35
その他	—	0
特別損失合計	0	35
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19	214
法人税、住民税及び事業税	26	29
法人税等調整額	△8	14
法人税等合計	17	43
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37	170
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37	170

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37	170
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△11	10
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益合計	△11	10
四半期包括利益	△48	181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48	181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業	住関連ライフ スタイル商品 小売事業	デザイン事業	計		
売上高						
国内卸売	1,362	—	—	1,362	—	1,362
海外卸売	333	—	—	333	—	333
店舗	—	575	—	575	—	575
E C・通販	—	1,073	—	1,073	—	1,073
その他	—	—	9	9	—	9
顧客との契約から生じる 収益	1,695	1,649	9	3,353	—	3,353
外部顧客への売上高	1,695	1,649	9	3,353	—	3,353
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,695	1,649	9	3,353	—	3,353
セグメント利益又は損失 (△)	29	263	9	302	△340	△37

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△340百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業	住関連ライフ スタイル商品 小売事業	デザイン事業	計		
売上高						
国内卸売	1,340	—	—	1,340	—	1,340
海外卸売	527	—	—	527	—	527
店舗	—	552	—	552	—	552
E C・通販	—	1,025	—	1,025	—	1,025
その他	—	—	9	9	—	9
顧客との契約から生じる 収益	1,868	1,577	9	3,455	—	3,455
外部顧客への売上高	1,868	1,577	9	3,455	—	3,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,868	1,577	9	3,455	—	3,455
セグメント利益	183	248	9	441	△407	34

(注) 1 セグメント利益の調整額△407百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	25百万円	25百万円
のれんの償却額	29百万円	29百万円

(重要な後発事象)

(連結子会社間の吸収合併)

当社は、2025年10月21日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社ジャパングヤルズを存続会社とし、株式会社ジャパングヤルズの完全子会社である連結子会社 株式会社ジャパングヤルズSCを消滅会社とする吸収合併を行うことについて決議し、同日付で合併契約書を締結いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合企業	名称	株式会社ジャパングヤルズ
	事業の内容	美容全般企画開発・各種商品企画OEM・化粧品製造販売
被結合企業	名称	株式会社ジャパングヤルズSC
	事業の内容	美容全般企画・各種商品企画OEM・化粧品販売・健康食品販売

(2) 企業結合日

2026年1月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

株式会社ジャパングヤルズを存続会社、株式会社ジャパングヤルズSCを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社ジャパングヤルズ

(5) その他の取引に関する概要

株式会社ジャパングヤルズは、これまで同社グループ内において製造機能と販売機能を分担して事業を運営しておりましたが、本合併により販売子会社である株式会社ジャパングヤルズSCを吸収合併することで、製造から販売までの一貫体制を構築します。これにより、人材・資金・情報などの経営資源をグループ全体で有効に活用し、業務効率化、管理部門の重複解消によるコスト削減、ならびに顧客ニーズを迅速に反映した製品開発・販売戦略を推進することが可能となります。

さらに、経営体制の一元化によりガバナンスを強化し、迅速かつ柔軟な意思決定を実現することで、経営基盤の強化と企業価値の向上を目指します。

2. 実施予定の会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2024年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。